

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公開番号】特開 2014-176690 (P2014-176690A)

【公開日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【年通号数】公開・登録公報 2014-052

【出願番号】特願 2014-50110 (P2014-50110)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 18/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00

A 6 1 B 17/38

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 15 日 (2020.1.15)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 8】

図 5 及び図 6 を参照すると、近位ケーブル 5 3 はルーメン 6 3 を画定する細長い可撓性外側チュービング部材 6 2 を有する。このルーメン 6 3 を通してドングルワイヤ 6 4 がケーブルの近位端と遠位端との間を伸べる。本発明の特徴に従って、ケーブル 5 3 は、ケーブルが操作できるように形状記憶を備えた半剛性であり、かつユーザによって所望に応じてドングル本体 5 4 を選択的に位置決めするか又は方向づけるように構成されている。一実施形態では、外側チュービング部材 6 2 は、金属合金又は一般に硬質なプラスチック材料のらせん状に巻かれたフラットストリップ（複数）6 7 を備え、当該フラットストリップ 6 7 は、フラットストリップ 6 7 の長手方向に沿う折り曲げ部（longitudinal folds）6 9 を有し、当該フラットストリップ 6 7 の長手方向に沿う折り曲げ部（longitudinal folds）6 9 は、隣り合う長手方向側縁部 7 1 を結合することによって、波状輪郭を有する、いわゆる「ゲースネック」管状構造体を形成する。この「ゲースネック」管状構造体は、それが操作できてかつ様々な所望の構成を保持するように柔軟性及び形状記憶を備える。管状構造体はまた、歪み軽減及び / 又はトランクケーブル絶縁被覆として機能してもよい。チュービング部材 6 2 を通して伸べるワイヤ 6 4 は、チュービング部材 6 2 内に保護されかつ密封される。